・６月２日釜ヶ崎反失業連絡会の要望書提出行動報告

午前１１時　集合　衆議院第１議員会館受付

午前１１時半　社民党

午後１時　自民党

午後２時　労働省

午後２時半　厚生省

午後３時　非公式会見（炭谷氏・これは表に出さないことという条件付き）

午後４時　民主党

午後４時半ないし５時に全行動終了予定

**・「５月とりまとめ」について**

・「ホームレス問題連絡会議」は継続と認識されている

　「まとめ」５の（１）の受け皿として、当然そうなる。ただし次回開催未定。

・「自立支援センター」が「自立支援事業」と変わっている。

　一つの箱物（単独施設）ではなく、「システム」という考え方となっている。

宿泊施設確保の自治体毎の事情（規模・用地確保など）を考慮して、具体的箱物とすることを避けた、と思われる。

・財政援助

　自立支援事業に対する国からの２分の１以上の補助－根拠は「まとめ４」に「一体となって取り組むこと」とあり、「一体」とは最低でも２分の１は見ると言うことの表現であり、具体的な負担割合はまだ決まっていない。

　「まとめ４」の「必要な助成」「適切な地方財政措置」は地方交付税での検討対象とするということ。

・案の採決と決定の前提

　案の採決の前に、各自治体から意見の表明があった。「当面の対応策としてまとめ、フォローアップを前提とすること」「法の制定・実効性のある雇用対策がまとめの中に入っていない。引き続き検討を」。その後採決、決定された。

・自立支援事業の要綱

　何が自立支援事業の対象となるのか、具体的には何も決まっていない。今後詰めることになる。基準となる「自立支援事業実施要綱」のようなものが必要だし、つくられるとおもう。

・今後国会でも取り上げられ、徐々に決まる、明らかになる、ということも考えられる

ともかく、未だ「やみ鍋」をつついているような状況でとらえどころがない。反失連としては、「要望案」も提出するが、新しい情報にもとづく要望書をあらたに作成、補強することとする。小冊子も提出。

参考２

釜の国への要望提出前行動のお知らせ他

Eメールでの意見受付に、

「　突然メールを差し上げ、お願い申し上げる失礼をお許しください。

現在、政府が関係自治体と共に「ホームレス問題連絡会議」を持ち、野宿生活者対策の策定に取り組んでいることはご承知のことと存じます。

　４月に、野宿者支援団体（17団体）が要望書を提出いたしましたが、大阪・釜ヶ崎で日雇労働者の失業問題・野宿生活者の困窮問題に取り組んでいる私たち（釜ケ崎就労・生活保障制度実現をめざす連絡会・略称・釜ヶ崎反失業連絡会）は、より具体的な要望を、近く「ホームレス問題連絡会議」に提出したいと準備を進めています。下記はその概要です。詳しくは、ホームページをご参照いただけましたら幸いに存じます。

http://www.osk.3web.ne.jp/~kamamat/hann/kuni/kuni1.htm

　お忙しい中、恐縮ではございますが、ご一読の上、ご理解とご支援をお願い申し上げます。」

の前書きをつけて、下記に発信。

５月１６日　首相官邸・民主・共産・公明・社会民主・自由・新社会・さきがけ・第二院クラブ

５月１８日　東京都・名古屋市・横浜市・川崎市

５月２１日　自由民主党（どういう訳か１６日にはつながらず、そのまま忘れていたのに気づき、あわてて送信した）

５月２２日「ホームレス問題連絡会議」関係省庁・自治体・各政党へ郵便で冊子と要望書案を送付。

Eｰメールの反応

５月１９日川崎市市民局広報部広聴相談課

メールをいただきありがとうございました。お寄せいただいた御意見は、関係部署に報告し、市政運営の参考とさせていただきます。受付番号；５６　番で受け付けました。

　このたびは，「市政提案箱」のご利用ありがとうございました。　所管局へ報告し，市政の参考とさせていただきます。

平成１１年５月２１日　　横浜市市民局広聴課

５月２８日

このたびは、私あてに大変貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

　私は、常日頃、政治家として多くの国民の皆様の生の声に耳を傾けることが極めて大事であると考えております。

　そのため、このインターネット・メールによるお便りは、国民の皆様のご意見を私あてにお聴かせいただく大切な方法の一つとして活用させていただいております。

　この首相官邸ホームページは、その時々の官邸の動きをできるかぎり早くお伝えするとともに皆様の生の声をお聴かせいただくために設けております。

　折にふれアクセスしてくださるようお願い申しあげます。

　　　　　　　　　　内閣総理大臣 小渕　恵三

以上。